

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

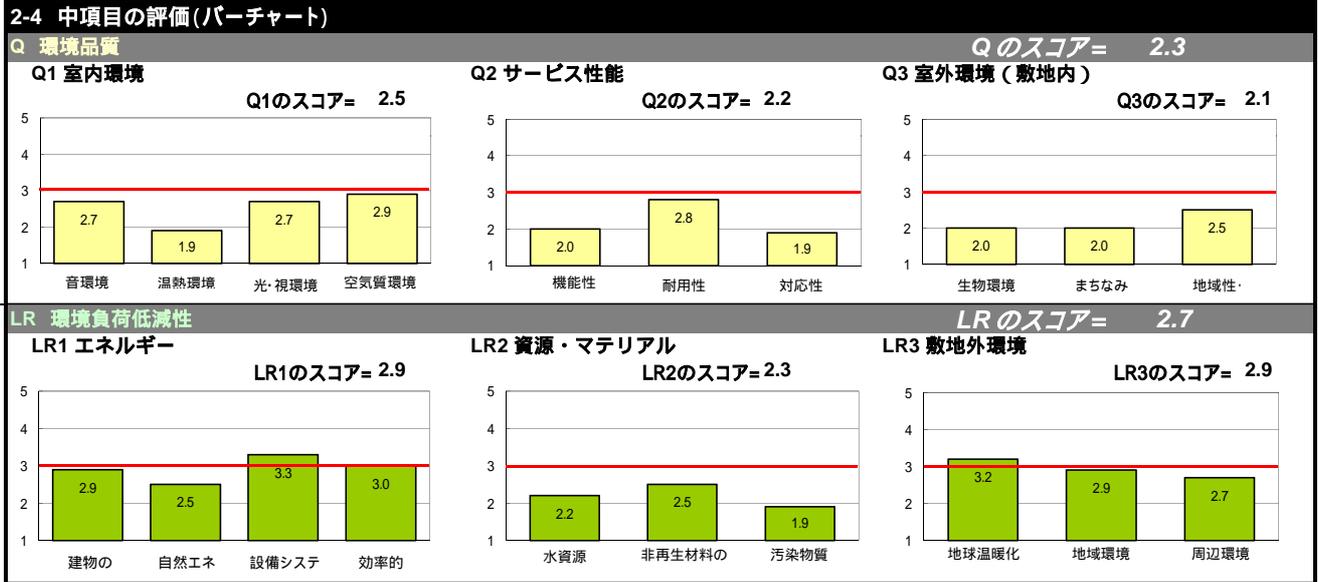
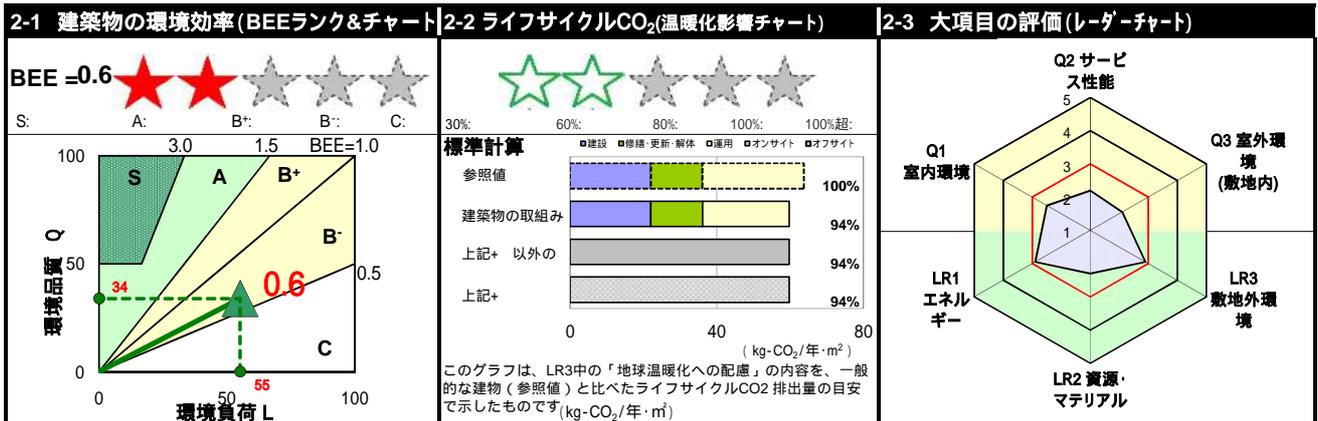
# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吉崎久乃様店舗付マンション新築工事	階数	地上10F
建設地	海老名市上郷字新川1670番1,671番,673番の各一部	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域・準防火地域	平均居住人員	69 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2014年8月1日
敷地面積	1,314 m <sup>2</sup>	作成者	大東建託(株)
建築面積	574 m <sup>2</sup>	確認日	2014年8月1日
延床面積	3,059 m <sup>2</sup>	確認者	大東建託(株)

外観/バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	接道面の空地进行をできる限り確保した。	その他 特になし
Q1 室内環境	住居部分の開口部遮音性に配慮し、T-2とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の外周部分ではできる限り緑化した。
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 自転車置き場、駐車場を適切に確保。駐車場の形状等への配慮。
Q2 サービス性能	光ケーブルの導入をする。	
LR2 資源・マテリアル	特になし	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される